

取組名：洛西文化浴でつながる会

団体名：洛西文化浴でつながる会
役職名：
氏名：澤野ともえ

令和元年度地域団体活動ステップアップサポート事業

取組の目的、目指していること：

洛西ニュータウンでは、建設から40年を経過していることから、これまで長年にわたり住み続けてきた住民については、良好なコミュニティを形成しているものの高齢化による縮退も目の前に迫りつつある。一方で、ニュータウンへの子育て世帯の移住が進んでおらず、若年層のコミュニティはせいぜい弱で広がりが少ない。このように世代を超えて失いつつあるニュータウンのコミュニティについて、出来る限り身近な生活をテーマとしながら、洛西の地域性を生かした文化浴を通じて心身ともに健康になり、多世代交流の促進につながっていくことを期待する。

	1年後【2020】	3年後【2022】	10年後【2030】	50年後【2070】	100年後【2120】
文化浴	文化浴ツアーの開催	京都文化浴大学・ラクセーヌ校開校	文化浴マルチステージタウン	文化浴の森スピリッツが町に浸透する	文化の宝が町に溢れている
竹林浴	竹林浴セラピーツアーの開催	ラクセーヌ・バンブーリゾート	竹林のバイオ燃料化の有効活用、産業化	竹林エネルギー、田畑の充実	自然と人が共生している
町の様子	新たな観点で知られ始める	町の中心地に文化拠点が生まれる	持続可能先進タウンとして注目される	世界中から人が訪れ、住む人も幸せ	文化、自然、仕事に溢れる町に

令和元年度の主な活動内容：

- ① **7/27(土) 初ミーティング (計7名参加)**
有志の顔合わせ、自己紹介。事業の方向性や今年の実行スケジュールを確認。
- ② **9/3(火) 洛西ニュータウン現場リサーチ 6名 (7/27メンバー)**
洛西ニュータウンサフセンター会館、京都市洛西竹林公園、竹の資料館見学
その他、大原野神社 (杉原根宜様より説明) 見学。
- ③ **10/21(木) (一社)文化浴の森としての活動に向けて**
9/3(火)の現場リサーチ結果を踏まえ、活動内容を検討し、
(一社)文化浴の森が企画の取りまとめ役を引き受ける。
- ④ **11/16(土) モニター講座「後の聖地」の実施**
参加者の反応リサーチ、地域の方々の協力体制リサーチ等
- ⑤ **12/30(月)企画書「文化浴×竹林浴 百年のまち物語」作成**
初期メンバー共有→承認を得る。

『後の聖地』 美しい洛西の自然



『後の聖地』 文化浴につながる説明



活動において苦勞したこと、苦勞を乗り越えた対策など：

- ① 西京区民として漠然と「何かしたい！」と思い、参加させて頂いたのが発端で、細かいことを気にせず（対象とする経費を意識せず）活動をしてしまった。
- ② 描いた理想が壮大なので、今後様々な方と協力関係を築いていく上で、理想を共有しながら、現実的な活動で足元をかためながら推進していく必要がある。

令和元年度の活動の成果：

- ① 竹の資料館を現場リサーチし、竹について全く無知だったが、竹の魅力を知ることができ、洛西の自然資源は竹だと感じた。
以後、林業従事者からの竹に関する情報提供を受け、可能性の拡がりを感じると共に課題もリアルに見えてきた。
- ② 大原野神社、正法寺、善峯寺、十輪寺等、大原野の文化度の高さをあらためて実感し、まだ知られていない絶景スポットに溢れていることを実感。
各社寺の方々の理解もあり、良いかたちで連携していけそうである。

今後の活動展望：

今後は「洛西文化浴でつながる会」から「一般社団法人文化浴の森」の代表澤野が以下の活動を引き継ぐ。

- ・まずは、地域の魅力を存分に活かし、地域の連携体制でウォーキングイベントやウォーキング教室を開催する。
- ・フィールドワーク型「文化浴×竹林浴」プログラムで地域価値を高める。
- ・「カルチャーカフェ」「カルチャーホテル」を拠点に、文化度の高い町を創る。
- ・100年先の子供たちのために、魅力あふれる美しいまち洛西ニュータウンをめざす。